



源汪集遺
全十五冊

五



をいづる 師明記は有れば 巖の字を用い 孟津

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

ひいしと仰ぐ 願也 寺の字あり 既切 世に日本紀

一 吾れくちしはくくゆる〇く菓ははねりしはるる
交り花とてさく

一 かりけねしりり〇く菓初名牙而行旅具之將動功
韻之標刀本及漢語標之標子加礼比計今菓俗所謂破子是
破子讀和理古 標子中有障之器也

一 餅ハらるおを敷くよあてしき〇く菓下きよの
よあてしきしきし敷くハら敷くよあてしき

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

三可の夜
ちこは草
母草一若
佛耳
氣類草
一名草車
ちこ草
兩種共
餅米粉

二和七餅
とろとろ
風味之同
文徳書録
楚歲時記
宋歳
宗帝の事
餅

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

一 ころの菓よあてしき〇く菓世は西條の事ハ商秘
傳の事ハ世は西條の事ハ商秘

細

後醍醐天皇御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

御紀
御紀
御紀
御紀

行つて筋をいふ成りしとて又字湯の傍に流る也
一 大入の字がたり先也 ○年輩之字が八正修信也
十は字湯のこも山月入の流結を俗にわづらふ言ふも
かりし

一 歌はワタがこしてさきと胸のゆきけりとも好く
春日野油弄五言上とよむれば時とて花のつらき
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

一 一ふらふあはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

一 我妻の心とて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

一 一ふらふあはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

一 雲林院のよきとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

一 昔をうとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて
あはれとて花のつらきとて花のつらきとて

酒麿

一 此の酒は... 細叩ヒタケ 河原書之

○今果集成の日花を... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

○此の酒は... 此の酒は...

此の酒は... 此の酒は...

此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

一 此の酒は... 此の酒は...

私同時代
の分ハイカ、
小町家の集
の分ハイカ

こゝろとて事々此世為人中大なる者也

あるべき世の中、世の中、家の中、心の中、ありては、
と有る小町家集、小町家集と入る、
これら小町家集、小町家集、
世の中、心の中、ありては、
○今集貫之集集

○今集貫之集集
○今集貫之集集
○今集貫之集集
○今集貫之集集

○今集貫之集集
○今集貫之集集
○今集貫之集集
○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集

○今集貫之集集



